

令和 8 年度 9 月補正予算案の概要

国の「高校教育改革に関する基本方針」に基づき、県立熊谷工業高等学校を高校教育改革の先導拠点として整備するとともに、公共事業の追加など当面对応すべき事業について補正予算を編成した。

【補正予算の内容】

- (1) 高校教育改革に資する拠点整備
- (2) 公共事業の追加、適正工期の確保
- (3) その他

1 補正予算額

区 分	補 正 前	補 正 額	計
一 般 会 計（第3号）	2兆4, 450億7, 415万1千円	113億9, 168万2千円	2兆4, 564億6, 583万3千円
特 別 会 計	1兆2, 754億6, 639万3千円	4億 650万3千円	1兆2, 758億7, 289万6千円
公営企業会計	2, 167億4, 389万円	—	2, 167億4, 389万円
合 計	3兆9, 372億8, 443万4千円	117億9, 818万5千円	3兆9, 490億8, 261万9千円

2 補正予算の財源内訳（一般会計）

歳 出	財 源 内 訳				
	国庫支出金 （*1）	繰 入 金 （*2）	繰 越 金	県 債	そ の 他 （*3）
113億9, 168万2千円	63億2, 971万6千円	8億7, 146万9千円	3億5, 311万9千円	36億7, 100万円	1億6, 637万8千円

*1 国庫支出金の主な内訳

- ・ 高等学校等教育改革促進事業費補助金 20億1, 954万6千円
- ・ 交通安全施設整備事業費補助金 16億3, 905万5千円
- ・ 社会資本整備総合交付金 11億4, 018万4千円

*2 繰入金の内訳

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策推進基金 7億5, 084万4千円
- ・ 高等学校等教育改革推進基金 1億2, 062万5千円

*3 その他の内訳

- ・ 分担金及び負担金 1億3, 726万5千円
- ・ 諸収入 2, 911万3千円

3 補正予算の内容

(1) 高校教育改革に資する拠点整備	21億4,017万1千円
--------------------	--------------

ア 改革先導拠点の整備 1億2,062万5千円
高校教育改革の先導拠点となる県立熊谷工業高等学校において、必要な施設・機器等を整備するとともに、新しい工業教育モデルを開発する。
＜繰越明許費の設定 8,694万2千円＞ 【教育局】

イ 埼玉県高等学校等教育改革推進基金の積立て 20億1,954万6千円
改革先導拠点の整備に係る財源として措置される国庫支出金を埼玉県高等学校等教育改革推進基金に積み立てる。 【教育局】

(2) 公共事業の追加、適正工期の確保	82億3,620万4千円
---------------------	--------------

ア 公共事業の内定増に伴う追加工事の実施 77億7,968万9千円
(ア) 道路・街路事業(96箇所) 【県土整備部】
＜債務負担行為の設定 限度額 13億円＞

(イ) 河川事業(8箇所) 4億5,651万5千円
＜債務負担行為の設定 限度額 20億円＞ 【県土整備部】

イ 適正工期の確保＜繰越明許費の設定＞ 133億3,057万円
【県土整備部】

(3) その他

14億2,181万円

ア 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る国庫返還金 7億5,084万4千円
コロナ禍における中小企業制度融資利子補給事業のため、国の交付金を積み立てた埼玉県新型コロナウイルス感染症対策推進基金について、活用期限の到来した事業に係る残余を国に返還する。 【産業労働部】

イ 物価高騰等の影響を受けた県営住宅事業における工事費の増額
(ア) 営繕費の増額 (県営住宅事業特別会計) 2億6,424万3千円
【都市整備部】

(イ) 公営住宅建設事業に係る継続費の増額 (県営住宅事業特別会計) 1億4,226万円
【都市整備部】

令和4年度公営住宅建設費

総額の増額 2億1,058万8千円 (48億5,748万3千円 → 50億6,807万1千円)
うち、令和8年度年割額 1億4,226万円
うち、令和9年度年割額 6,832万8千円

令和5年度公営住宅建設費

総額の増額 3億4,828万7千円 (19億2,274万3千円 → 22億7,103万円)
うち、令和9年度年割額 2億4,317万円
うち、令和10年度年割額 1億511万7千円

(ウ) 県営住宅事業特別会計への一般会計からの繰出金の増額 2億6,446万3千円
【都市整備部】